



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年6月24日

上場会社名 株式会社 あさひ 上場取引所 東
コード番号 3333 URL <https://www.cb-asahi.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)下田 佳史
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)金子 潤 (TEL)06(6923)7900
四半期報告書提出予定日 2024年6月28日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の業績 (2024年2月21日～2024年5月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	26,934	3.5	3,667	0.6	3,648	△1.9	2,486	△1.8
2024年2月期第1四半期	26,025	7.3	3,644	5.9	3,720	7.7	2,532	7.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	95.35	—
2024年2月期第1四半期	96.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	55,767	38,891	69.7
2024年2月期	52,553	36,964	70.3

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 38,891百万円 2024年2月期 36,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想 (2024年2月21日～2025年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	5.1	4,400	4.3	4,500	3.1	2,960	1.3	113.34
通期	82,500	5.7	5,500	12.0	5,800	11.7	3,680	18.2	140.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	26,240,800株	2024年2月期	26,240,800株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	204,756株	2024年2月期	126,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	26,075,394株	2024年2月期1Q	26,114,344株

(注) 当社は2014年6月19日より「役員報酬BIP信託」を導入しております。

期末自己株式数には、当該信託が所有する当社株式(2025年2月期1Q 204,370株、2024年2月期 126,070株)を含めております。また、当該信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2025年2月期1Q 165,020株、2024年2月期1Q 126,070株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復やインバウンド需要の増加などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、ウクライナや中東情勢などにおける地政学的リスクの影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰や日米の金利差を背景とする円安進行などの要因もあり、景気の先行きは不透明な状態が続きました。

自転車業界におきましては、電動アシスト自転車などの高機能商材への移行による買い替えサイクルの長期化や、物価高に起因する消費意欲の低下などで新車への買い替えが減少したものの、修理メンテナンスをしながら1台の自転車を長く利用する傾向は一段と強まりました。

当社におきましては、自転車の新しい価値創造企業として、より良い自転車ライフを実現するため「持続可能な社会の実現」「当社の持続的な成長」を目指し取組んできました。まず、OMO(注)強化の一環では「ネットで注文、お店で受取り」サービスの基盤強化を中心に、人気商材の確保や競争力のある販売価格の設定、効果的なキャンペーン施策などを行ってきました。特に、高い機能性とデザインに加え、値ごろ感のある価格を実現したあさひブランドの電動アシスト自転車「エナシス」が好調に推移したことや、これまでEC販売需要の高い都市部への出店を行ってきたことが成果として表れ、増収を達成することができました。そのほかにも、修理メンテナンスについては、前年度に修理工賃の価格改定を行ないましたが、依頼件数は増加傾向にあります。それに伴い、サービス提供体制を整備したことで需要増加に対応することができました。当社の強みである全国展開の店舗網やECでの販売体制、物流基盤、並びに修理技能を有する専門人材の育成など、従来から取組んできた収益基盤の強化により、厳しい状況下でも対応できる強靱な体制を醸成しました。

また、物価上昇による節約意識の影響を受け、自転車業界でリユース商品への需要が高まりを見せています。当社ではリユース事業の拡大に向けて、商材を十分に確保するための買取対象店舗数の増加や買取後の商品化作業の効率化、SNS広告や店頭での認知拡大に向けた告知強化を行ないました。引き続き、お客様が不要になった自転車を積極的に買取し、商品化作業を行ないリユース商品として販売することで、資源の有効活用並びに低炭素社会・循環型経済への貢献を目指していきます。

出退店の状況につきましては、関東地域に1店舗を新規出店しました。また、中国地域の1店舗がフランチャイズ契約を終了し直営店になりました。この結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は、直営店517店舗、FC店17店舗のあわせて534店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は26,934,027千円(前年同期比3.5%増)となりました。また、営業利益は3,667,837千円(前年同期比0.6%増)、経常利益は3,648,973千円(前年同期比1.9%減)、四半期純利益は2,486,377千円(前年同期比1.8%減)となりました。

なお、当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注) Online Merges with Offlineの略。ECと店舗が融合して、情報入手から購入、利用までをお客様の体験価値としてご提供する仕組み。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて3,273,458千円(11.2%)増加し、32,512,395千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加3,860,886千円、売掛金の増加1,095,960千円、商品の減少1,922,415千円等によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて59,504千円(0.3%)減少し、23,255,432千円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加94,995千円、建物の減少156,914千円等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて3,213,954千円(6.1%)増加し、55,767,828千円となりました。

②負債

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて1,275,926千円(8.8%)増加し、15,714,005千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加483,862千円、賞与引当金の増加472,455千円、未払費用の増加252,516千円等によるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べて10,727千円(0.9%)増加し、1,162,493千円となりました。これは主に、株式報酬引当金の増加6,575千円、資産除去債務の増加4,277千円等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1,286,654千円(8.3%)増加し、16,876,498千円となりました。

③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて1,927,300千円(5.2%)増加し、38,891,330千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による増加2,486,377千円、剰余金の配当による減少590,409千円、自己株式の取得による減少112,859千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.7%（前事業年度末は70.3%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年4月1日の「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月20日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,521,898	13,382,784
売掛金	3,781,034	4,876,994
商品	13,937,103	12,014,687
未着商品	1,091,526	1,022,676
貯蔵品	175,852	140,363
その他	732,481	1,075,849
貸倒引当金	△960	△960
流動資産合計	29,238,936	32,512,395
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,260,328	9,103,413
土地	3,163,012	3,163,012
その他（純額）	1,798,655	1,847,506
有形固定資産合計	14,221,995	14,113,932
無形固定資産		
投資その他の資産	1,104,097	1,151,432
差入保証金	5,166,919	5,146,869
建設協力金	751,093	726,988
その他	2,073,674	2,155,529
貸倒引当金	△2,845	△39,319
投資その他の資産合計	7,988,843	7,990,068
固定資産合計	23,314,937	23,255,432
資産合計	52,553,873	55,767,828

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月20日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,271,138	4,523,044
未払法人税等	910,169	1,394,032
契約負債	4,137,357	4,312,056
賞与引当金	1,008,165	1,480,621
株主優待引当金	60,765	—
その他	4,050,482	4,004,250
流動負債合計	14,438,078	15,714,005
固定負債		
株式報酬引当金	149,300	155,875
資産除去債務	765,148	769,426
その他	237,316	237,191
固定負債合計	1,151,765	1,162,493
負債合計	15,589,844	16,876,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,061,356	2,061,356
資本剰余金	2,165,171	2,165,171
利益剰余金	32,888,679	34,784,647
自己株式	△180,112	△292,972
株主資本合計	36,935,093	38,718,202
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	28,936	173,127
評価・換算差額等合計	28,936	173,127
純資産合計	36,964,029	38,891,330
負債純資産合計	52,553,873	55,767,828

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年2月21日 至2023年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自2024年2月21日 至2024年5月20日)
売上高	26,025,993	26,934,027
売上原価	13,980,134	14,620,884
売上総利益	12,045,858	12,313,143
販売費及び一般管理費	8,401,702	8,645,306
営業利益	3,644,156	3,667,837
営業外収益		
受取利息	9,830	9,051
為替差益	8,580	—
受取家賃	29,090	26,772
受取手数料	16,729	33,699
受取補償金	30,046	20,767
その他	8,958	7,252
営業外収益合計	103,235	97,543
営業外費用		
為替差損	—	55,159
不動産賃貸原価	23,951	21,581
貸倒引当金繰入額	—	36,714
その他	3,267	2,951
営業外費用合計	27,218	116,407
経常利益	3,720,172	3,648,973
特別損失		
固定資産除売却損	1,139	1,973
減損損失	—	3,189
特別損失合計	1,139	5,163
税引前四半期純利益	3,719,033	3,643,810
法人税、住民税及び事業税	1,222,000	1,283,000
法人税等調整額	△35,107	△125,567
法人税等合計	1,186,892	1,157,432
四半期純利益	2,532,141	2,486,377

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2023年2月21日 至 2023年5月20日)

(単位:千円)

	品目別				
	自転車	パーツ・アクセサリ	ロイヤリティ	その他	合計
一時点で移転される財又はサービス	19,288,225	4,363,430	—	1,624,133	25,275,790
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	48,674	701,528	750,202
顧客との契約から生じる収益	19,288,225	4,363,430	48,674	2,325,661	26,025,993
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,288,225	4,363,430	48,674	2,325,661	26,025,993

(注) 1. 当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の内訳は記載しておりません。

2. 「その他」には、各種整備、修理等の付帯サービス及び長期保証サービス等を含んでおります。

当第1四半期累計期間(自 2024年2月21日 至 2024年5月20日)

(単位:千円)

	品目別				
	自転車	パーツ・アクセサリ	ロイヤリティ	その他	合計
一時点で移転される財又はサービス	20,275,507	4,197,078	—	1,743,969	26,216,555
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	45,421	672,050	717,472
顧客との契約から生じる収益	20,275,507	4,197,078	45,421	2,416,020	26,934,027
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,275,507	4,197,078	45,421	2,416,020	26,934,027

(注) 1. 当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の内訳は記載しておりません。

2. 「その他」には、各種整備、修理等の付帯サービス及び長期保証サービス等を含んでおります。